

コキアの紅葉とコスモスが織りなす、 ここだけの秋景色。

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」ではコキアの紅葉とコスモスが見頃を迎えています。

「みはらしの丘」は当公園の所在地であるひたちなか市で最も標高が高く、その名の通り、天気のいい日には太平洋と那須連山、筑波山を一望できるほど眺めのいい場所です。

現在、丘はコキアの紅葉とコスモスに包まれています。コスモスとコキアの紅葉が織りなす景色は、丘のふもとの方から見上げても、上から見下ろしても、ここでしか見ることが出来ない絶景です。

コキアの紅葉見頃は10月21日（日）頃までを予想しています。紅葉が終わり11月に入ると、「みはらしの丘」は来春のネモフィラの準備に取りかかります。

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

2012年10月12日撮影

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター
広報宣伝チーム 青木・服部・和光
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4
TEL : 029-265-9001 (報道関係者の方は 9004・9005)
FAX : 029-265-9339
<http://www.hitachikaihin.go.jp>
“ひたち海浜公園”で検索

千紫万紅

丘を吹き抜けていく風に冷たさが増していくにつれ、秋の色も濃くなつてきました。

リュウキュウハギの紫色が点々と続く林を通り抜けると、その先に小高い丘があらわれます。

裾野から頂上に向かい、白、ピンク、赤、濃赤の順で徐々に色を変えていくコスモス。そこから深紅に染まつたコキアへとつながり、丘全体が壮大な自然のアートのようです。午前中の爽やかな表情、夕方のオレンジ色に包まれたどこか切ない表情など、その日の天気や時間帯により変化していく丘の色。ふもとには昔なつかしい古民家と農村風景があり、見頃を迎えたソバの白い花が畑一面に広がっています。

葦草と秋桜

当時、秋の「みはらしの丘」は、コスモスが一面に広がっていました。秋の花を代表するコスモスの丘にコキアが加わったことにはある理由があります。

太平洋岸に位置するひたち海浜公園は、砂丘や松林など特色ある自然環境を活かしつつ整備された公園です。

「紅葉する木々が少ない園内で、季節の移ろいを感じてほしい」、当時の担当者は、紅葉して形も可愛らしい一年草のコキアに着目。2年間の試験植栽を経て、平成19年から一般公開されました。

夏から秋にかけての暑さや台風は、植物の状態に大きく影響します。コキアの紅葉とコスモスの開花時期を合わせるため、これまで培つた経験をもとに様々な工夫をしてきました。

そして、今年で6年目を迎えた秋の「みはらしの丘」には、満開のコスモスと真っ赤に紅葉したコキアが広がっています。

コキア成長日記

Kochia Growth Diary

2011年の“みはらしの丘”的コキアの成長記録です。※昨年の画像ですので、紅葉の進行時期は多少変わります。



2011年6月24日撮影（植え付け）



2011年7月6日撮影



2011年7月24日撮影



2011年8月9日撮影



2011年8月9日撮影



2011年8月18日撮影



2011年8月30日撮影



2011年9月11日撮影



2011年9月24日撮影（台風翌日）



2011年9月28日撮影



2011年10月4日撮影



2011年10月6日撮影



2011年10月7日撮影



2011年10月7日撮影



2011年10月8日撮影



2011年10月9日撮影



2011年10月14日撮影①



2011年10月14日撮影②



2011年10月17日撮影



2011年10月21日撮影



2011年10月27日撮影



2011年11月2日撮影



2011年11月3日撮影



2011年11月7日撮影（刈り取り）

—半年後、赤いみはらしの丘は青い丘へと変わります。—